

兵庫県のコメツキムシ(2)

岸 井 尚

Subfamily ELATERINAE Leach

コメツキ 亜科 (2)

Tribe Physorhinini Candèze

74. *Anchastus aquilis aquilis* Candèze, 1873

クリイロアシプトコメツキ

Miwa (1934)。神戸市から唯一の記録があるのみであるが、近隣地域では稀ならず灯火に飛来するものが得られている。

Tribe Adrastini Candèze

75. *Lanecarus palustris* (Lewis, 1894)

ニセムナボソコメツキ

Miwa (1934)。早春河原や海岸砂礫地で得られるが多くない。約50年前の三輪博士による報告が本県下で唯一の記録例であるが、筆者の所蔵標本中に下記のものがあるので記録しておく。
高砂浜, 3 exs. (23. IV, 1954, 石田 裕採; 30. V, 1954, 石田 裕採)。

76. *Silesis musculus musculus* Candèze, 1873

クチプトコメツキ

妙見山, 1ex. (30. VII, 1982), 烏原, 1ex. (30. VI, 1983), 鳥羽, 1ex. (5. VII, 1975), 砥ノ峯, 2exs. (15. VII, 1977; 6. VIII, 1977), 大河内, 1ex. (8. VI, 1977), 水谷, 1ex. (17. VII, 1981), 音水, 2exs. (20. VII, 1969), 坂ノ谷, 3exs. (22. VII, 1979)。岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975b), 高橋 寿郎 (1978), 仲田 (1982)。

77. *Glyphonyx illepidus* Candèze, 1873

クチボソコメツキ

音水, 3exs. (20. VII, 1969; 15. VII, 1973)。山本・高橋 (1962), 奥谷 (1974)。

78. *G. bicolor bicolor* Candèze, 1893

キバネクチボソコメツキ

妙見山, 2exs. (30. VII, 1982), 砥ノ峯, 1ex. (8. VII, 1977), 音水, 1ex. (30. VII, 1972)。
山本・高橋 (1962), 岸井 (1963), 奥谷 (1974), 仲田 (1982)。

Tribe Agriotini Champion

79. *Ectinoides insignitus* (Lewis, 1894)

ヨツキボソコメツキ

三濃山, 4exs. (7. V, 1972; 18. V, 1974), 川上, 1ex. (14. V, 1977)。山本 (1958),
高橋 匡 (1975b, 1982), 仲田 (1978, 1982)。

80. *Ectinus sepes* (Lewis, 1879)

キアシムナボソコメツキ

坂ノ谷, 1ex. (9. VI, 1973)。一般に西南日本に分布域をもつが, 岸井 (1983) が指摘したよ
うにそんなに多い種でない。本県下からは未記録であった。

81. *E. exulatus* (Candèze, 1873)

ムナボソコメツキ

奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 仲田 (1978, 1982)。筆者 (1983) が述べ
たように本種は本州西南地域から四国・九州に分布域をもつ種のように, *sericeus* の暗色型と
極めてよく似ている。*sericeus* 暗色型は奈良・和歌山両県山岳地帯に屢々みられるが, 近畿北
部地域及び中国地方のものではまだ検していないので, 上記報告例はすべて間違いないと思うが,
再検討の余地はあるように思われる。

82. *E. sericeus sericeus* (Candèze, 1878)

カバイロコメツキ

烏原, 3exs. (9. V, 1981; 23. V, 1981; 5. V, 1982), 三濃山, 1ex. (18. V, 1974),
赤西, 1ex. (27. X, 1979), 音水, 1ex. (11. V, 1972)。辻 (1963), 西脇 (1965),
辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 仲田 (1982)。すべて典
型的色彩をもつもののみで, 西南日本に分布する暗色型はみられない。

83. *E. longicollis* (Lewis, 1894)

ムネナガカバイロコメツキ

岸井(1963), 奥谷(1974), 高橋 匡(1982)。記録としては鳥取・徳島・熊本からのものもあるが, 一般的には近畿北部山岳地帯までが主分布域で個体数は中部山岳地帯に比し急減する。

84. *Agriotes(Agriotes) ogurae ogurae* Lewis, 1894

オグラカバイロコメツキ

有本(1979)。伊丹市内からの唯一の記録があるのみである。本種は別亜種が4種報告されており, それらとの関係については産地に最も近い淀川水系に産する原名亜種に最も近い。なお, Gurjeva(1972)はソ連に広く分布する *A. subvittatus* Motschulsky, 1859のシノニムとしているが, この扱いについては少々疑問点があるので, こゝでは従来通りしておく。

85. *Dalopius exilis* Kishii, 1956

ナガナカグロヒメコメツキ

高橋 匡(1975b, 1982)。兵庫県北部山岳地帯で稀に得られ, 中国地方, 九州からの記録は記録はない。なお, 奈良・和歌山の山岳地帯では少ないものではない。

86. *D. bizen* Kishii, 1984

チュウゴクナカグロヒメコメツキ

音水, 1ex.(13.V, 1973)。高橋 匡(1976, 1982)。中国山地東端部では *Dalopius* 属で本種が最も多いようである。従来 *hirasanus* の名で報告された種である。

Tribe Elaterini Leach

87. *Dolerosomus gracilis* (Candèze, 1873)

キバネホソコメツキ

鳥原, 15exs.(22. IV, 1980; 27. IV, 1980; 1. V, 1980; 3. V, 1980; 15. IV, 1981; 5. V, 1981; 9. V, 1981; 22. IV, 1982; 24. IV, 1982; 29. IV, 1982; 5. V, 1982; 13. V, 1982; 23. V, 1983), 藍那, 1ex.(5. V, 1969), 白川, 4exs.(24. IV, 1979, 石井正樹採; 25. IV, 1979, M.Seno 1eg.; 25. IV, 1979, 永井正身採; 23. V, 1979,

永井正身採), 三濃山, 22exs. (3. V, 1969 ; 7. V, 1972 ; 12. V, 1974 ; 18. V, 1974 ; 1. VI, 1974), 音水, 3exs. (31. V, 1970 ; 3. VI, 1973), 坂ノ谷, 2exs. (9. VI, 1973)。山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 有本 (1977), 仲田 (1978, 1982)。

88. *Shirozulus bifoveolatus* (Lewis, 1894) コガネホソコメツキ
高橋 匡 (1976, 1982), 仲田 (1982)。

89. *Vuilletus viridis viridis* (Lewis, 1894) ミドリヒメコメツキ
福知溪谷, 2exs. (3. VI, 1975, 遊摩正秀採)。山本 (1958), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 有本 (1977), 仲田 (1978, 1982)。従来の記録は亜種名が明示されていないので或いは次の *crebrepunctatus* や, *peropacus*, *subopacus* などが混入している可能性が大きい。同一地域, 同時期に出現するこれらの個体群が複数の亜種に分けられている現状の分類処置は基だ疑問で, 再検討されるべき種である。

89' *V. viridis crebrepunctatus* (Nakane, 1959) オオミドリヒメコメツキ
坂ノ谷, 1ex. (9. VI, 1973)。Nakane (1959, 模式標本), 高橋 匡 (1975a)。

90. *Neotrichophorus junior junior* (Candèze, 1873) ヒゲナガコメツキ
鳥原, 3exs. (28. V, 1972 ; 7. VI, 1982 ; 14. VII, 1983), 音水, 1ex. (15. VII, 1973)。Miwa (1934), 山本 (1958), 奥谷 (1974)。

91. *N. linteatus* (Candèze, 1873) コヒゲナガコメツキ
Lewis (1894), Miwa (1934), 山本・高橋 (1962), Kishii (1966), 高橋 匡 (1976, 1982)。珍しい種であるが, 兵庫県下からの記録は多い。

92. *N. aureopilosus yamamotoi* Nakane et Kishii, 1955 クロコナガコメツキ
Nakane et Kishii (1955, 模式標本)。丹波 Shigura 産の1雌標本で記載されて以来報告をみない。原名亜種は南西諸島に分布するが, これとの関連はうすいかも知れない。

93. *Elater (Elater) sieboldi* (Candèze, 1873)

オオナガコメツキ

Lewis (1894), 山本 (1958), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1976, 1982), 堀田 (1976, 1978a), 仲田 (1978, 1982)。

94. *E. (Parallelostethus) candezei candezei* (Lewis, 1894):

ヒメクロナガコメツキ

山本・高橋 (1962), 高橋 匡 (1975, 1982)。これまで北但地方から *E. (P.) nipponensis* (Lewis, 1894) (*nipponensis* は誤り) の種名で報告されていたものは上記種と思われる。

高橋 匡 (1975) の報告した標本は筆者がその一部を同定し、標本の一部を所有するが、これは *candezei* であった。長く実体の不明であった本種とそれまで *nipponensis* オオクロナガコメツキとされていたものの実体を明らかにしたのは、大平 (1978) による業績で、現在までの知見によると一般に *candezei* の方がより南西日本に広く分布しているようであり、筆者は近畿地方及びその周辺地からの確実な *nipponensis* にはまだ接していないので今回の報告では本県からの上記記録例を *candezei* に訂正しておく。

Subfamily MELANOTINAE Candèze クシコメツキ亜科

95. *Melanotus (Spheniscosomus) cete* Candèze, 1860

アカアシオオクシコメツキ

鳥原, 8 exs. (29. IV, 1969; 23. V, 1970; 16. V, 1971; 14. V, 1972; 8. V, 1977; 5. V, 1982), 山ノ街, 1 ex. (23. V, 1970), 三谷, 1 ex. (24. V, 1975), 鳥羽, 2 exs. (1. VI, 1975), 白山, 1 ex. (27. V, 1973), 大河内, 1 ex. (4. VI, 1977), 音水, 1 ex. (31. V, 1970), 家島, 1 ex. (26. V, 1978)。Lewis (1894), Miwa (1934), 三輪 (1935), 山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 高橋 匡 (1964, 1975a, 1982), 堀田 (1978b), 仲田 (1978, 1982), 高橋寿郎 (1978)。

96. *M. (S.) japonicus* Ohira, 1974

ハネナガオオクシコメツキ

福知溪谷, 1 ex. (16. VI, 1975, 遊摩正秀採)。特に珍しいものではないが、今回の記録が兵庫県からは初めてのものとなる。

97. *M. (S.) restrictus* Candèze, 1865

オオクロクシコメツキ

鳥原, 2exs. (30. V, 1971; 2. VII, 1972)。Heyden (1879, *piger* として記録),
Miwa (1934), 山本 (1958), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡
(1976, 1982), 堀田 (1978b), 仲田 (1978, 1982)。

98. *M. (Melanotus) koikei* Kishii et Ohira, 1956

ヒラタクシコメツキ

妙見山, 1ex. (30. VII, 1982), 鳥原, 3exs. (2. V, 1971; 27. VI, 1971; 1. V, 1981)。
岸井 (1963), 有本 (1977)。

99. *M. (M.) correctus correctus* Candèze, 1865

ヒラタクロクシコメツキ

三湊山, 2exs. (12. V, 1974; 18. V, 1974), 福知溪谷, 1ex. (16. VI, 1975, 遊摩正秀
採), 音水, 8exs. (11. VI, 1972; 25. VI, 1972; 24. VI, 1973), 須留ヶ峯, 1ex. (19. VI,
1975, 遊摩正秀採), 家島, 1ex. (26. V, 1978)。三輪 (1935), 山本・高橋 (1962),
岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975b, 1982),
有本 (1977)。

100. *M. (M.) spernendus spernendus* Candèze, 1873

ナガチャクシコメツキ

山本・高橋 (1962), 高橋 匡 (1975a, 1982)。

101. *M. (M.) annosus* Candèze, 1865

クロツヤクシコメツキ

鳥原, 11exs. (24. V, 1970; 17. V, 1971; 16. VI, 1971; 23. V, 1971; 30. V,
1971; 28. V, 1972), 山ノ街, 1ex. (29. V, 1976)。Harold (1876), 岸井 (1963),
久松 (1974), 高橋 匡 (1975b), 有本 (1977), 高橋寿郎 (1978, 1982), 仲田
(1978, 1982)。

102. *M. (M.) legatus legatus* Candèze, 1860

クシコメツキ

鳥原, 1ex. (4. VII, 1983), 明石, 3exs. (29. VI, 1975; 12. VI, 1976), 畑, 2exs. (13.
VII, 1974), 三湊山, 1ex. (7. V, 1972)。Heyden (1879), 三輪 (1935), 山本 (1958),

岸井 (1963), 高橋 匡 (1964, 1982), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974),
久松 (1974), 仲田 (1978, 1982)。

103. *M. (M.) lewisi* Schenking, 1927

ルイスクシコメツキ

妙法寺, 1ex. (25. VII, 1979)。Lewis (1894, 模式標本, *longipennis* として記載),
山本・高橋 (1962)。

104. *M. (M.) scnilis* Candèze, 1865

クロクシコメツキ

藍那, 1ex. (24. V, 1978), 三谷, 3exs. (24. V, 1975), 鳥羽, 2exs. (1. VI, 1975)
; 白山, 2exs. (27. V, 1973), 笠形山, 2exs. (12. VI, 1975), 大河内, 5exs. (4. VI,
1977 ; 18. VI, 1977), 三濃山, 5exs. (7. V, 1972 ; 6. V, 1973 ; 12. V, 1974 ;
18. V, 1974 ; 8. VI, 1974), 福知溪谷, 2exs. (20. VI, 1976)。Lewis (1894),
Miwa (1934), 三輪 (1935), 山本 (1958), 岸井 (1963), 高橋 匡 (1975a,
1982), 仲田 (1978, 1982)。

105. *M. (Kensakulus) fortunei* Candèze, 1878

マルビクシコメツキ

Lewis (1894, *invectitius* として記録), Miwa, (1934, *harnandi* として記録),
山本 (1958), Kishii (1963, *invectitius* として記録), 奥谷 (1974),
高橋 匡 (1975b, 1982; *fortunei* と誤記)。

106. *M. (K.) erythropterus* Candèze, 1873

コガタクシコメツキ

鳥原, 7exs. (14. V, 1972 ; 5. V, 1981 ; 9. V, 1981 ; 15. V, 1981 ; 4. V, 1982 ;
17. V, 1982), 三谷, 2exs. (24. V, 1975 ; 8. VI, 1975), 白山, 1ex. (3. V, 1973),
大河内, 5exs. (7. V, 1977 ; 14. V, 1977 ; 31. V, 1977 ; 4. VI, 1977), 三濃山,
4exs. (20. V, 1973 ; 18. V, 1974 ; 1. VI, 1974), 原, 1ex. (11. V, 1979), 赤西,
2exs. (10. V, 1970), 音水, 10exs. (31. V, 1970 ; 11. VI, 1972 ; 3. VI, 1973 ; 13.
V, 1973 ; 3. VI, 1975, 遊摩正秀採), 坂ノ谷, 1ex. (9. VI, 1973)。Candèze (1873,
模式標本), Heyden (1879), 戸澤 (1936), 山本 (1958), 辻 (1963), 辻・岸田
(1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 高橋寿郎 (1978), 仲田 (1978,
1982)。

107. *M. (K.) seniculus* Candèze, 1873

チャバネクシコメツキ

赤西, 1ex. (10. V, 1970)。Candèze (1873, 模式標本), Miwa (1934), 有本 (1977)。

Subfamily NEGASTRIINAE Nakane et. Kishii

ミズギワコメツキ亜科

108. *Yukoana elliptica* (Candèze, 1873)

ヘリマメコメツキ

鳥羽, 1ex. (29. IV, 1972), 音水, 1ex. (31. V, 1970)。Miwa (1927, 1934, *punctatus* として記録), 山本・高橋 (1962), 高橋 匡 (1976, 1982), 仲田 (1978, 1982)。

109. *Y. carinicornis* (Lewis, 1894)

ヘリムネマメコメツキ

川上, 1ex. (2. VII, 1977, 大平博士同定)。奥谷 (1974), 仲田 (1978, 1982)。

110. *Y. terukoe* Kishii, 1961

ホソマメコメツキ

川上, 1ex. (21. V, 1977, 大平博士同定)。

111. *Quasimus (Quasimus) japonicus* Kishii, 1959

ニホンマメコメツキ

音水, 1ex. (11. VI, 1972)。奥谷 (1974), 有本 (1977)。

112. *Q. (Q.) parvulus* Kishii, 1970

ニセチビマメコメツキ

高橋 匡 (1975b, 1982), Kishii (1976)。

113. *Q. (Q.) ovalis* (Candèze, 1873)

マルマメコメツキ

高橋 匡 (1975b, 1982)。

114. *Pronegastrius (Pronegastrius) humeralis humeralis* (Candèze, 1873)
カタモンチビコメツキ

鳥原, 2exs. (21. V, 1978)。仲田 (1978, 1982)。

115. *Yamatostrilus albipilis* (Candèze, 1873)
シラケチビミズギワコメツキ

本県下から従来記録はなかったが、筆者所有標本中に下記のものがあるので報告しておく。

なおKishii (1976) は本種の所属を南米に分布する *Monadicus* 属の亜属として報じたが、多くの点でこの属とは異なるので本邦で独特の分化した属とみなすのが妥当のようである。

高砂浜, 1ex. (23. IV, 1954, 石田 裕採), Tatoi-浜, 淡路島, 22exs. (18. IV, 1976, 渡辺昭彦採)。

116. *Migiwa (Migiwa) curatus curatus* (Candèze, 1873)
ミズギワコメツキ

鳥原, 1ex. (21. V, 1978)。Kishii (1976a)。

117. *M. (M.) insulsus* (Candèze, 1873)
クロミズギワコメツキ

本種の記録は兵庫県からは見出せないが、筆者の所有するものに下記のものがあるので報告しておく。

妙見山, 1ex. (6. VII, 1952, 石田 裕採), 有馬温泉, 5exs. (15. VII, 1956, 石田 裕採), 六甲~有馬, 5exs. (10. VII, 1955, 石田 裕採)。

118. *M. (M.) tutus* (Lewis, 1894)
キアツミズギワコメツキ

Kishii (1976a)。

119. *M. (M.) yotsuboshi* Kishii, 1976
ヨツボシミズギワコメツキ

Kishii (1976, 模式標本)。伊丹市内の猪名川から得られた標本が記載時用いられた。現在京都と兵庫からのみ知られている。

120. *M. (M.) cruciatus* (Candèze, 1873)

ジュウジミズギワコメツキ

Miwa (1934)。

Subfamily CARDIOPHORINAE Candèze ハナコメツキ亜科

Tribe Cardiophorini

121. *Cardiophorus pinguis* Lewis, 1894

クロハナコメツキ

妙見山, 1ex. (30. VII, 1982), 烏原, 1ex. (19. V, 1981), 藍那, 1ex. (5. V, 1969), 烏羽, 1ex. (1. VI, 1975)。山本 (1958, *vulgaris* として記録)。山本・高橋 (1962), 岸井 (1963, *subaeneus* として記録), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975b, 1982; *pinguis* 及び *subaeneus* の両者を記録)。有本 (1977), 高橋寿郎 (1978), 仲田 (1978, 1982)。山本・高橋の記録した *lewisi* は本種と思われる。

122. *Paracardiophorus pullatus* (Candèze, 1873)

コハナコメツキ

烏原, 1ex. (21. IV, 1980)。Candèze (1873, 模式標本), Miwa (1934), 三輪 (1935), 山本 (1958), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975b, 1982), Kishii (1977), 仲田 (1978, 1982)。

123. *P. musculus opacus* (Lewis, 1894)

クロコハナコメツキ

明石市屏風浦, 1ex. (5. X, 1982), 城崎, 1ex. (17. V, 1970)。Kishii (1977)。

124. *P. sequens sequens* (Candèze, 1873)

アカアシコハナコメツキ

Miwa (1934), 久松 (1974)。久松は本種と共に *P. sp.* として不明種を報じているが、これは文意から判断すると *sequens* の変異と考えられる。筆者は他地方産のもので脚が黒化する *sequens* が正常のものに混じる例を屢々みている。

125. *Paradicronychus adjutor adjutor* (Candèze, 1873)
アカアシハナコメツキ
鳥原, 2exs. (5. Vl, 1980 ; 8. Vl, 1982)。Miwa (1934), 山本・高橋 (1962),
岸井 (1963), 仲田 (1978, 1982)。
126. *P. nothus nothus* (Candèze, 1865)
オオハナコメツキ
有本 (1977), 仲田 (1978, 1982)。
127. *Gambrinus niponensis* (Lewis, 1894)
ニホンカネコメツキ
有本 (1977)。
128. *Neohypdonus telluris* (Lewis, 1879)
クロツヤミズギワコメツキ
山本 (1958)。

参 考 文 献

- 有本久之 (1977), 能勢地方のコメツキムシ, 能勢の生物調査報告書(2), 近畿大学農学部生物
研究会: 29-35.
- ………… (1979), オグラカパイロコメツキ伊丹市に産す。きべりはむし, 7(1): 19.
- Candèze, E. (1873), Insectes recueillis au Japan par Mr. G.
Léwis; Elatérides. Mém. Soc. roy. Sc. Liège, 5(2): 1-33.
- Harold, L. (1876), Bericht über eine Sendung Coleopteren aus
Hiogo. Abhandl. nat. Ver. Bremen, 5: 129-130.
- Heyden, L. von (1879), Die coleopterologische Ausbeute des Prof. Dr.
Rein in Japan. Deutsche ent. Zeit., 23: 348-365.
- 平松広吉 (1977), 和歌山県産コメツキムシ科目録 Ⅲ, 南紀生物, 19(2): 69-72.
- 久松定成 (1974), 本四架橋ルートの鳥々の昆虫相, 本州四国連絡橋に伴う周辺地域の自然環境
保全のための調査報告書(その2): 87.
- 堀田 久 (1976), 先山の昆虫相(I), Parnassius, 16: 23-24.
- ………… (1978a), 淡路島産昆虫類採集記録, ibid., 18: 13.
- ………… (1978b), 同上(II), ibid., 19: 12-13.

- 木下賢司(1982), 自宅付近の燈火で採集した昆虫あれこれ, IRATSUME, 6:77-78.
- Kishii, T. (1961), Elateridae of Is. Tsushima. Bull. Heian High Sch., 5:1-56.
- (1966), Elateridae of Kyoto and its adjacent Regions. Bioi. Lab. Heian High Sch., Kyoto:1-54.
- (1976a), New Negastrinae with some notes. Bull. Heian High Sch., 20:17-46.
- (1976b), Some new Forms of Elateridae in Japan(XI). Ibid.:47-56.
- (1977), Some new Forms of Elateridae in Japan(XII). Sci. Rep. Kyoto Pref. (Annl. Rep. priv. Schs. Kyoto Pref.), 15:49-61.
- (1978), A study on the genus Actenicerus Kiesenwetter from Japan and its adjacent area(1). Bull. Heian High Sch., 22:17-29.
- (1983), On some Elaterid-species from Japan, with the Description of two new Taxa (Coleoptera). Ibid., 27:47-64.
- 岸井 尚(1963), 高橋寿郎氏蒐集の兵庫県産叩頭虫類, Akitu, 11(1):9-13.
- (1980), 日本産シモフリコメツキ属の研究(2), Bull. Heian High Sch., 24:1-9.
- 黒佐和義(1955), 甲虫の幼虫(2), 新昆虫, 8(7):17.
- Lewis, G. (1894), On the Elateridae of Japan. Ann. Mag. nat. Hist., (6)13:26-48, 182-201, 255-266, 311-320.
- (1895), On the Lamellicorn Coleoptera of Japan, and notice of others. Ibid., (6)16:407.
- 前多 純・他三氏(1974), 岡田山の昆虫目録, 岡田山の自然, 神戸女学院:110-119.
- 的場 積・平松広吉(1973), 和歌山県産コメツキムシ科目録I, 南紀生物, 15(2):45-48.
- (1974), 同上II, ibid., 16(1):18-22.
- Miwa, Y. (1927), New and some rare species of Elateridae from the Japanese Empire. Ins. Mats., 2(2):105-114.
- (1934), The fauna of Elateridae in the Japanese Empire. Dept. Agr. Govt res. Inst., Formosa, 65:1-289.
- 三輪勇四郎(1935), 竹内吉蔵氏及戸澤信義氏所蔵叩頭虫の標本目録. 関西昆虫雑誌, 3(2):50-53.

- Nakane, T. & Kishii, T. (1955), Descriptions of a few new forms of the Elaterid-beetles from Japan, with notes on some others. Sci. Rep. Saikyo Univ. (Nat. liv. Sci.), 2(1), A ser. : 43-45.
- 中根猛彦・岸井 尚 (1955), 原色日本昆虫図鑑, 甲虫編 (コメツキムシ科), 保育社 : 12-15.
 …… (1956), 同上, 補遺 : 20-22.
- 仲田元亮 (1978), 能勢の昆虫 I, 大阪 : 1-405.
 …… (1982), 同上, 甲虫之部, 上巻, 増補改訂版, 大阪 : 1-453.
- 西脇自然同好会昆虫班 (1965), 西脇, 多可, 八千代昆虫目録, 西脇自然同好会々報, 1(1) : 51.
- 野村 全 (1938), フタモンウバタマコメツキの本州に於ける一新産地, 昆虫界, 6 (51) : 479
 480.
- 野崎義雄 (1942), フタモンウバタマコメツキを採る。昆虫界, 10 (102) : 493.
- 奥谷禎一 (1974), 中国山脈東端の昆虫相, 東中国山地自然環境調査報告 : 206-207.
- 大平仁夫 (1965), 九州に産するコメツキムシ科の珍種(3), 北九州の昆虫, 12(1) : 1-4.
- 大平仁夫・有本久之 (1976), コメツキムシ雑記 (Ⅷ), 昆虫と自然, 11(6) : 23-25.
- Stibick, J. (1979), Classification of the Elateridae (Col.). Pacific Ins., 20 (2/3) : 145-186.
- 高橋 匡 (1964), 出石郡昆虫目録, 第1報, 兵庫県立出石高等学校科学部生物班会誌, VITA, I : 18-19.
 …… (1975a), 豊岡高等学校昆虫標本目録, 第1報, 兵庫県立豊岡高等学校生物教室 : 1-54.
 …… (1975b), 同上, 第2報 : 55-66.
 …… (1975c) 同上, 第3報 : 17.
 …… (1976), 同上, 第4報 : 8.
 …… (1978), 同上, 第5報 : 10.
 …… (1982), 但馬地方昆虫目録 (予報第7報), IRATSUME, 6 : 69-74.
- 高橋寿郎 (1978), 神崎郡大河内町川上~砥峯地区の甲虫. 大河内地点自然環境実態調査報告書, 兵庫県 : 58-59.
 …… (1981), 県下2種のコメツキムシの分布. 兵庫県甲虫相資料, 82, きべりはむし, 9(1) : 22-23.
- 登日邦明 (1983), 煙島の動植物目録, 煙島の自然 : 113-119.
- 戸澤信義 (1936), 芝川家所蔵昆虫標本目録, 柴木遺稿, 別巻 : 1~333.
- 辻 啓介 (1963), 但馬扇ノ山甲虫目録(1), 兵庫農科大学生物研究部々誌, 3 : 30-31.

辻 啓介・岸田剛二(1972), 但馬扇ノ山の甲虫目録, 兵庫県自然保護協会調査資料, 第1集:
20-48.

上田尚志(1981), 家島群島の昆虫(2), きべりはむし, 9(1): 13.

山本義丸(1958), 兵庫県氷上郡昆虫目録. 氷上の自然, 第3集, Natura 特別号: 84-85.

山本義丸・高橋 匡(1962), 氷上郡昆虫目録追補(第1集): 7-8.

訂正 前回報告分の№33と34の和名が入れ違いですので訂正します。

兵庫県ゼフィルス採卵紀行(2)

勝 屋 潤

3. 朝来郡朝来町～生野町

(1) 1982年10月23日

福崎インタより312号線を北上すると間もなく朝来郡に入る。生野町, 朝来町, 和田山町と好採集地が多い。

市川から円山川に変われば朝来町になる。大きな湖池も多く, 銀山湖, 多々良木湖, 神子畑池等の周りにはブナ, マンサク, ヤマザクラ, ウラジロガシコナラ等ゼフ採卵には絶好の場所である。生野町をうろうろすると一番目につくのはやはりヤマザクラで少ないながらもメスアカはすぐ見つかる。本日の目的はフジミドリである。

銀山湖周辺には沢が多くありブナが多い。ブナの大木は下の方にひこ生えがなく, とても登れそうもない。しかし, ひこ生えを探索に見ていけば一年枝の分岐部より大きな卵が見つかった。実際, フジは大木に登ったとしても上の方に産付されているのは稀で, ほとんどはひこ生えである。従って, 苦勞してわざわざ登ることはない。

しかしやはり道沿の木には少なく, 溪流に沿って斜面に生えるブナの小木が一番効率がよい。京都の産地では尾根のブナ林に多く溪流沿は少なかったが, 本地域では逆のようである。

寄生は比較的少なく, 卵の管理も容易なので採卵した数のほとんどは成虫になる。

斜面はかなりきつく下に人がいないことを確かめてから歩かないと石や岩を落とす危険がある。ブナは背垣町方面に向って点々とあるのでよいポイントを捜せばいい。とは云っても限られた時間内では仲々うまくいかない。フジは通常1卵ずつ, 時々2卵のものがあるが, 恐らく異なる母蝶によって産付されたものと思われる。中には1m程の幼木にも産みつけられている。